

再発防止策検討協議会  
第3回 議事概要

1. 日時：令和3年3月25日（木）午後1時30分から午後2時28分まで

2. 場所：東京証券取引所会議室およびオンライン

3. 議題：

再発防止策検討協議会報告書について

4. 議事概要：

(1)総論に関する意見

- 迅速かつ円滑な売買再開に向けた手順やルールを多方面から検討したことにより、昨年10月の障害のような混乱は生じないだろう。
- 海外取引所がどのような運用をしているのか、より良い対応方針はないかなど引き続き検討いただきたい。
- 大枠のルールは決まったものの、今後各証券会社のシステム対応を行わなくてはならず、詳細を決めていければよいと考えている。
- 現行システムの立ち上げに2時間半もかかることがインシデント時の立会時間確保に制約を与える一因でもある。次期システムではアーキテクチャをシンプルにしてもっと短時間で立ち上がるようにすることでリスクを低減化できるような検討をお願いしたい。
- システムである以上完璧はなく、予期せぬことは起こってしまうので大事なものはネバーストップに固執せず、機動的に判断することだ。
- システムインシデントが起きるのは前提として、起きた場合の手順が明確になったのは安心。今般整備された手順やルールは訓練等を通して確立され、証券会社と取引所の意思疎通がよくなること、及び運用の中で適切化されることを期待している。
- 売買停止及び再開の判断はどのような機関（ガバナンス）で行われるのか、明確にさせていただくのが良いだろう。
- どうしても想定外の事象は起こるので取引所の総合判断は残るだろう。
- 報告書のとりまとめができたのは重要な一歩。今般整備したルールや手順が機能するのかについて、4月以降訓練を行い適宜見直しを行うことで実効性を高めていくことが重要と考えている。

(2)各論に関する意見

(売買再開後の立会時間について)

- 立会時間が15分となった場合については社内でも意見が分かれるところ。正しい価格形成がなされるのか、キャパシティは十分確保できるのかなど、投資家からの意見も考慮いただきたい。
- 立会時間が15分となった場合に適切かつ公正な流動性や価格形成が確保されるのか現時点でも懸念をしている。15分という時間について固定的にとらえるべきではなく、状況に応じて機動的に判断していただきたいと考えている。
- 機関投資家としては立会時間が15分となることはベストではないが、十分対応可能なものと考えている。

#### (売買再開のルール・手順について)

- クリーンスタートにより売買再開が行われたが、再発注の義務を果たせなかった場合、後日妥当な価格で顧客と清算する必要があると認識しているが、取引所にも柔軟にサポートいただきたい。
- 立会開始後の障害からの売買再開に関する対応は複雑になるだろう。ケース別に色々な論点があると思うので引き続き議論をお願いしたい。

#### (障害訓練等について)

- 4月に改訂される接続仕様書の記載を充実していただきたい。障害訓練はシナリオが重要になるため、引き続き検討をお願いしたい。
- 接続仕様書は重要であり、これに基づく訓練を繰り返し行うことが大事だろう。弊社は個人投資家の注文数も多いため、負荷試験をやっていただきたい。
- 売買再開ルールが明確化されたのはよかったが、社内では障害訓練が大変だという意見もあり、フォローいただきたい。
- ルールや手順を整備した際、最初は頻繁に訓練が実施されるが、将来は担当者の変更もあり運用が形骸化するおそれがあるため、訓練は長期的に継続して実施していただきたい。

#### (意見聴取プロセスについて)

- 機関投資家としては最良執行を考慮すると複数の発注先が確保されていることが望ましく、確保できないことやそれを予見できないことを避けたいと考えているため、証券会社の再開可否について何等か開示ができないかご検討いただきたい。

#### (障害発生時における情報発信について)

- 英語での情報発信の拡充は評価すべき。
- 取引所と情報ベンダの情報連携がスムーズに行われないと、売買再開も難しくなると思うので密な連携をお願いしたい。

- 投資信託の設定解約をする会社としては、後工程が長いため、障害後の対応方針等は早めに周知していただきたい。
- 証券会社は投資家への対応が必要になるわけだが、引き続き丁寧にご説明いただけるようお願いしたい。
- 投資信託の販売会社からは障害発生時の取扱いを早く決めてほしいと強く要望されており、取引所と緊密に連携を取り対応していきたい。

(今後のスケジュールについて)

- 今後の東証のシステム対応計画（資料 P.17）のうち取引所売買システムのシステム再立ち上げについてであるが、具体的にいつから発動されるか記載されておらず懸念している。訓練後に開始するのが望ましいのではないかと考えている。
- J-GATE3.0 の稼働もあり、開発リソースはひっ迫している。資料 P.17 のスケジュールのとおり開発できるかわからないため、本協議会やワーキング・グループに参加していない証券会社を含め考慮いただきたい。

以上

(なお、議事概要については、東証株式部文責による。)